

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



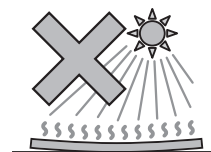
注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



ポイント

- 保管時・施工時の部材の反り・曲がり・伸び等の防止のため、以下の事項を守ってください。
 - ・直射日光を避けて保管してください。
 - ・平らな場所に保管してください。立てかけて保管しないでください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。



<施工上のご注意>



注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.5N・m φ5ネジ：3.0N・m 1.0N・m(人工木素材へ取付場合)

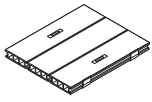
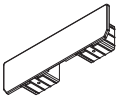
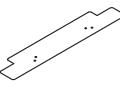




ポイント

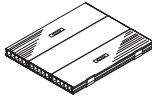
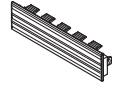


- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

■梱包明細表

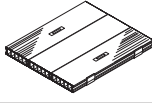
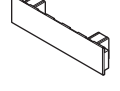
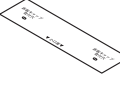


【1】点検口（樹ら楽 柱目・プレーンタイプ・デッキDS）

名 称	略 図	員 数
点検口		1
床板キャップ		12
床板キャップ穴開け治具		1
ネジカバー		5
【1-1】φ4×16サラタッピンネジ1種		26
取付説明書〈E344〉	—	1

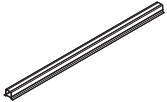
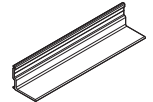


【1】点検口（デッキDC）

名 称	略 図	員 数
点検口		1
床板キャップ		12
ネジカバー		5
【1-1】φ4×16サラタッピンネジ1種		26
取付説明書〈E344〉	—	1




【1】点検口（樹ら楽 木彫タイプ）

名 称	略 図	員 数
点検口		1
床板キャップ		12
穴開け治具		1
ネジカバー		5
【1-1】φ4×16サラタッピンネジ1種		26
取付説明書〈E344〉	—	1

【2】補助根太

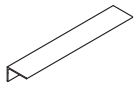
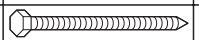
名 称	略 図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
ネジカバー		8
【2-1】φ4×13ナベドリルネジ		16

【3】サブ補助根太

名 称	略 図	員 数
サブ補助根太		1
ネジカバー		4
【3-1】φ4×13ナベドリルネジ		4

【4】躯体付けアングルセット

オプション

名 称	略 図	員 数
躯体付けアングル		1
【4-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		6

1. 基本寸法と各部名称

1-1 点検口

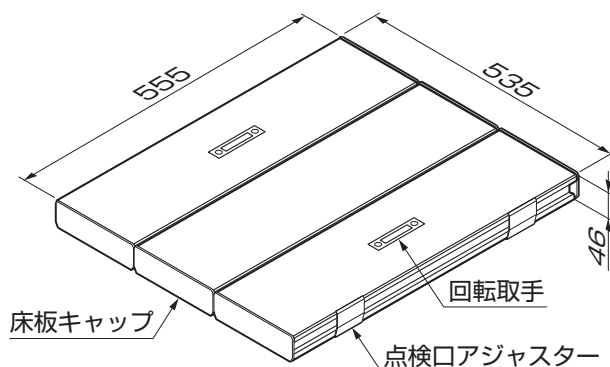


図1-1 樹ら楽 柂目・プレーンタイプ・デッキDSの場合

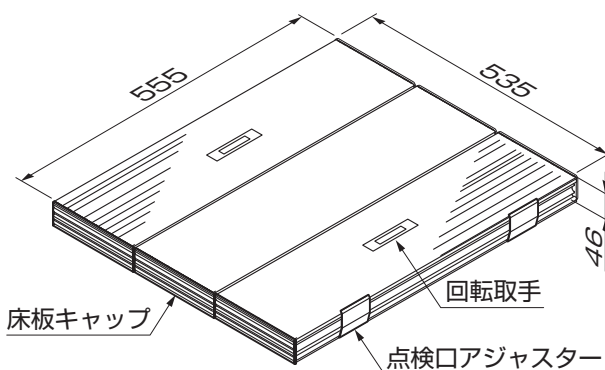
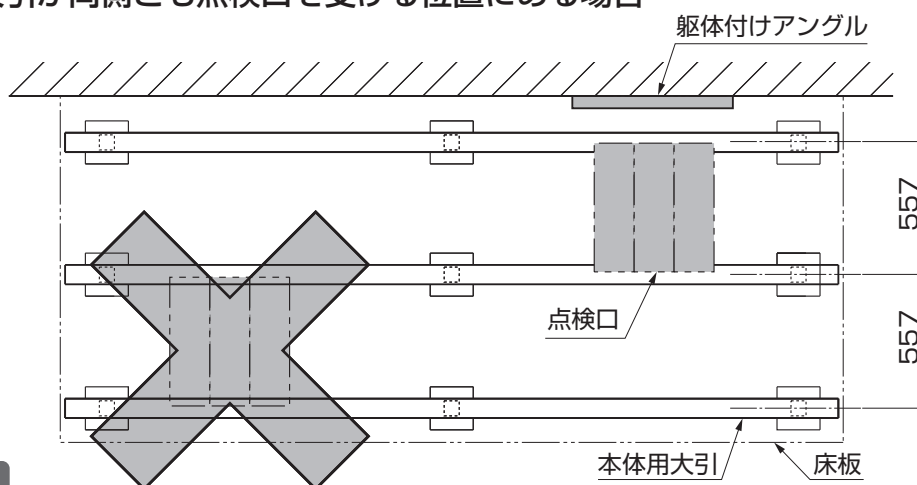


図1-2 樹ら楽 木彫タイプ・デッキDCの場合

2. 補助根太等の設置

2-1 点検口

(1) 本体用大引が両側とも点検口を受ける位置にある場合



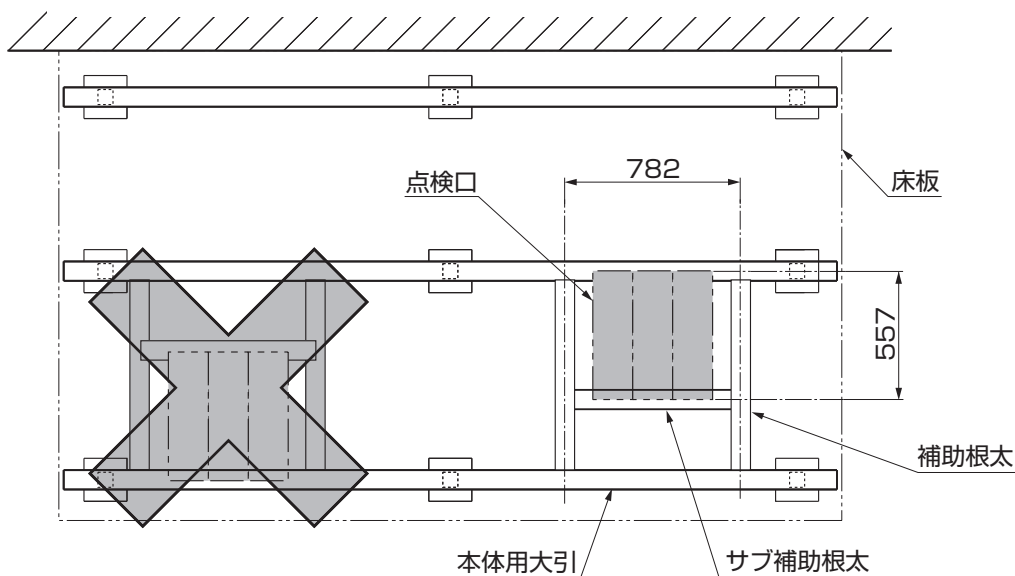
ポイント

- 端部の本体用大引を利用して、点検口を設置することはできません。床板が固定できなくなります。
- 躯体側で点検口を設置する場合は、躯体付けアングルを使用してください。取付けは「樹ら楽 柂目・プレーンタイプ〈E470〉」、「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC〈EXM-251〉」または「デッキDS〈E483〉」の取付説明書を参照してください。

2. 補助根太等の設置 (つづき)

2-1 点検口 (つづき)

(2) 本体用大引が片側のみ点検口を受ける位置にある場合

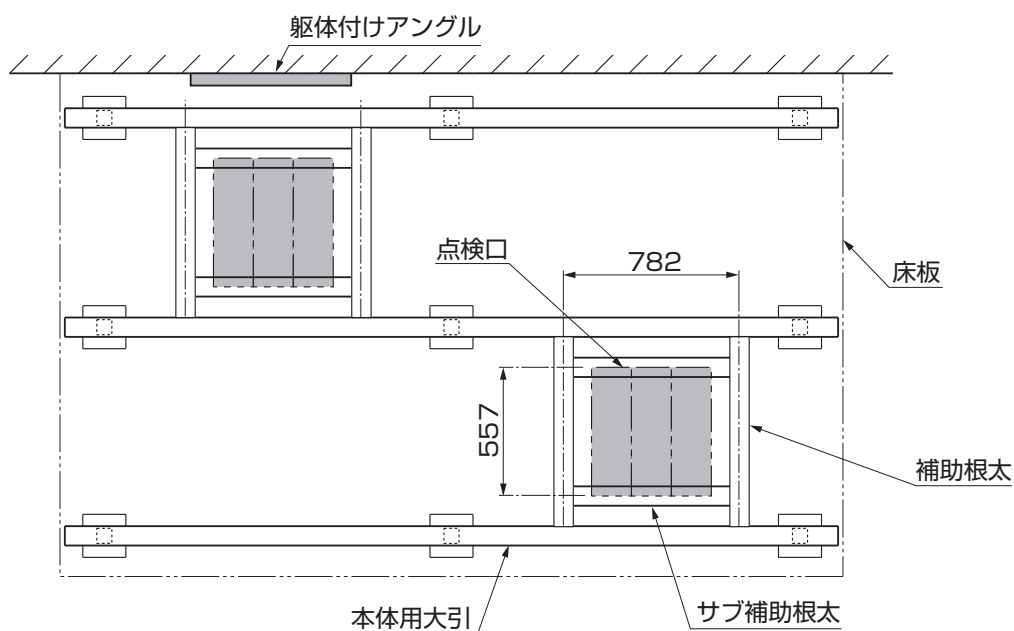


①補助根太・サブ補助根太を使用して設置してください。

ポイント

●端部の本体用大引を利用して、点検口を設置することはできません。床板が固定できなくなります。

(3) 点検口設置位置に本体用大引がない場合



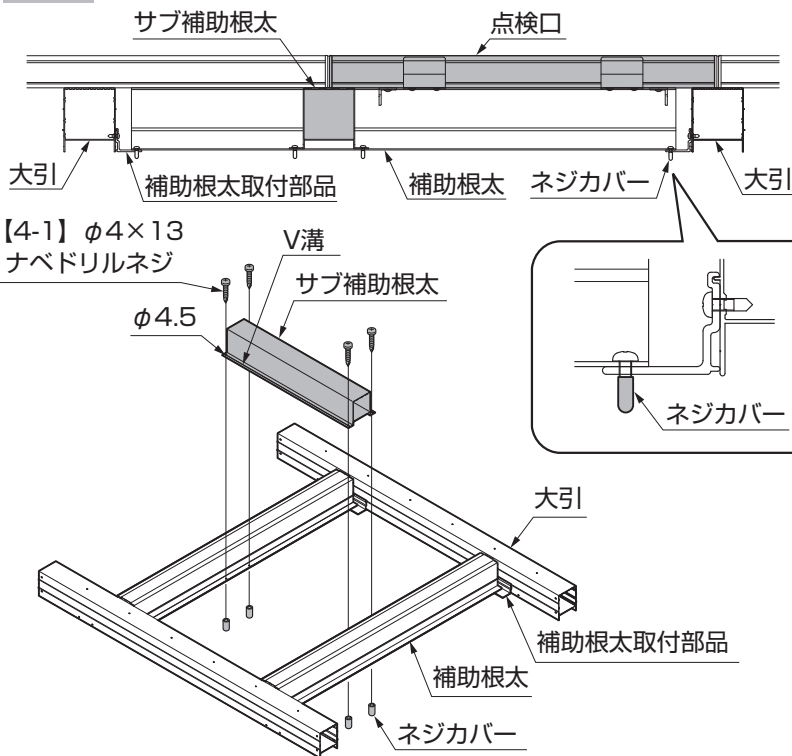
①補助根太・サブ補助根太を使用して設置してください。

ポイント

●躯体側で点検口を設置する場合は、躯体付けアングルを使用してください。取付けは「樹ら楽 柱目・プレーンタイプ〈E470〉」、「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC〈EXM-251〉」または「デッキDS〈E483〉」の取付説明書を参照してください。

2. 補助根太等の設置 (つづき)

2-2 サブ補助根太の取付け ※点検口の場合の作業です。



ポイント

●補助根太取付部品の取付けおよび補助根太の取付けは、「樹ら楽ステージ(E470)」、「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC取付説明書〈EXM-251〉」または「デッキDS〈E483〉」の取付説明書を参照してください。

- ①サブ補助根太を取付ける位置を確認してください。
- ②サブ補助根太のV溝にそって、補助根太に取付ける位置4ヶ所に、φ4.5の下穴をあけてください。
- ③サブ補助根太を補助根太に、【4-1】で固定してください。
- ④点検口をあけた際に、手の届く範囲のネジの先端にはネジカバーをはめてください。

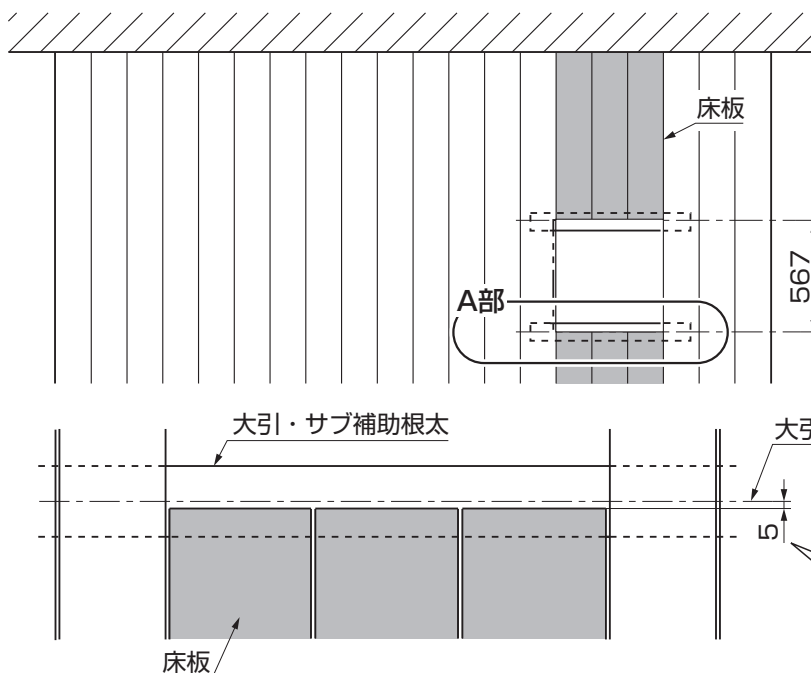
※図は 樹ら楽 柱目・プレーンタイプ、デッキDSを示します。

樹ら楽 木彫タイプ・デッキDCの場合は「本取付説明書〈EXM-252〉」および「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC取付説明書〈EXM-251〉」をご覧ください。

3. 本体床板の加工

3-1 本体床板の切断

(1) 点検口



ポイント

●床板は、設置した大引またはサブ補助根太の中心から、5mm内側で切断してください。

図3-1 A部詳細

- ①点検口設置位置の床板3枚を、567mm切断してください。

3-2 床板キャップの取付け

(1) 柵目・ブレンタイプ・デッキDSの場合

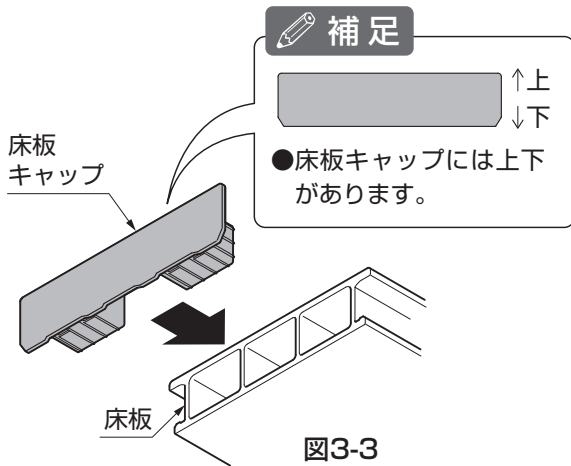


図3-3

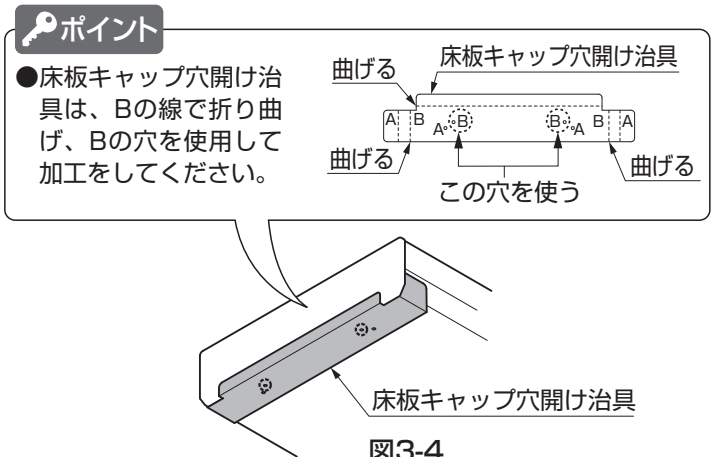


図3-4

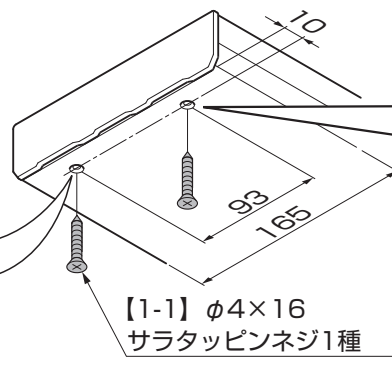
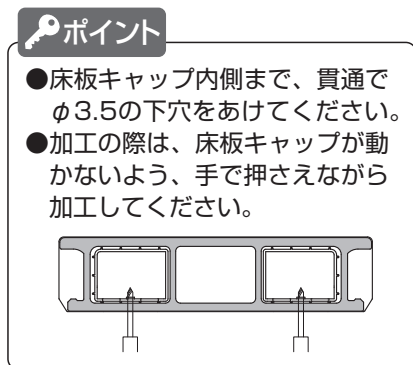
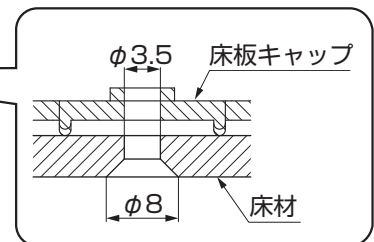
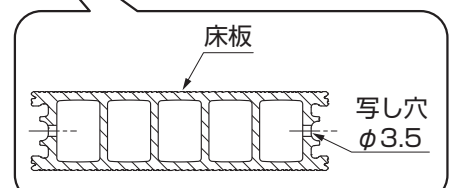
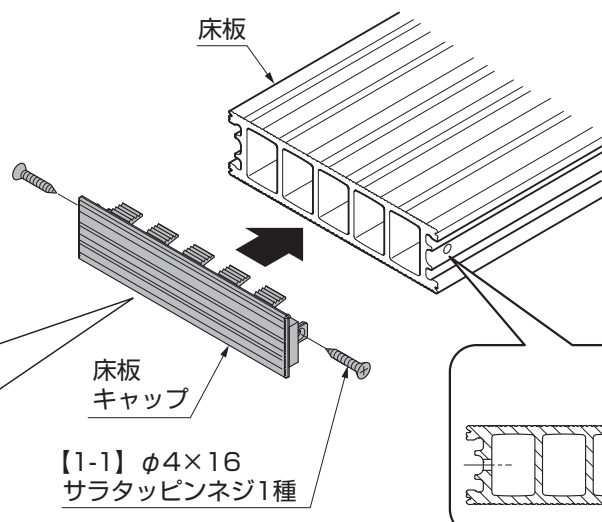
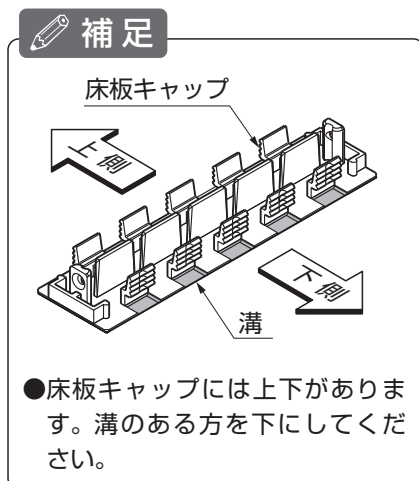


図3-5



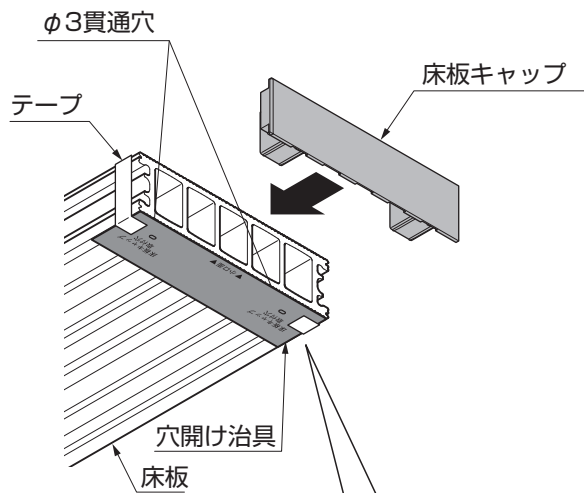
- ①床板キャップを床板にはめてください。(図3-3参照)
- ②床板キャップ穴開け治具をBの線で折り曲げてください。(図3-4参照)
- ③床板裏面に穴開け治具をあて、Bの穴でφ3.5の穴加工とφ8のサラ取り加工をしてください。(図3-4、図3-5参照)
- ④床板キャップを床板に【1-1】で固定してください。(図3-5参照)

(2) デッキDCの場合

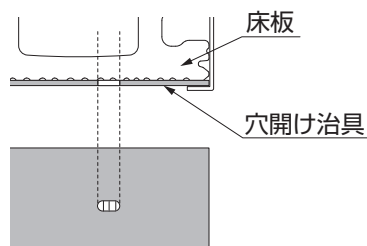


- ①床板キャップを床板に差し込み、φ3.5の写し穴をあけてください。
- ②床板キャップを【1-1】で固定してください。

(3) 樹ら楽 木彫タイプの場合



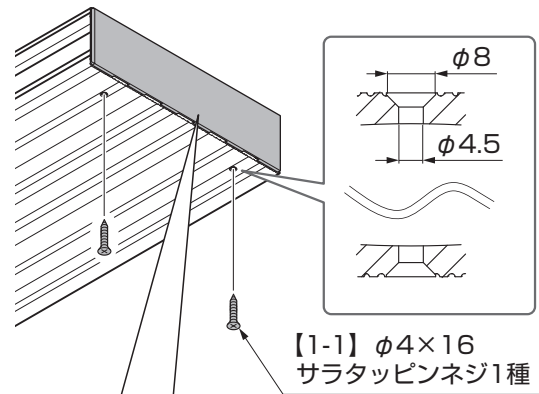
- 床板の溝になっている部分に下穴φ3の貫通穴をあけてください。



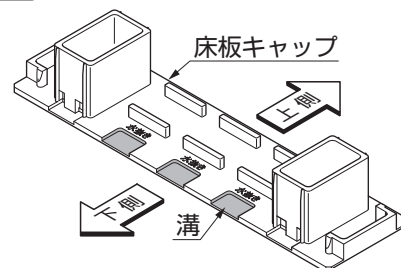
- ① 床板に床板キャップをはめてください。
- ② 穴開け治具を床板端部側面に合わせ、テープなどで仮固定してください。
- ③ 穴開け治具を使用し床板の溝になっている部分に下穴φ3の貫通穴をあけてください。
- ④ 床板にφ4.5、φ8サラ取り加工をしてください。
- ⑤ 床板キャップを【1-1】で固定してください。

補足

- ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。



補足



- 床板キャップには上下があります。溝のある方を下にしてください。

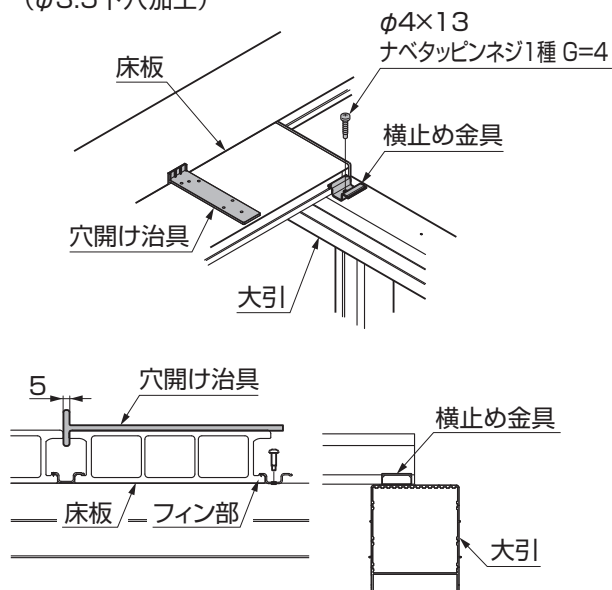
3. 本体床板の加工(つづき)

3-3 横止め金具・横止め部品の取付け

(1) 大引の場合

【柎目・プレーンタイプ・DSの場合】

- ①横止め金具を床板のフィン部に乗せて、床板の隙間5mmを穴開け治具で確認し、φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4で大引に固定してください。
(φ3.5下穴加工)



ポイント

- 突起形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。

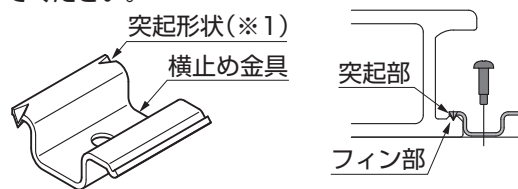
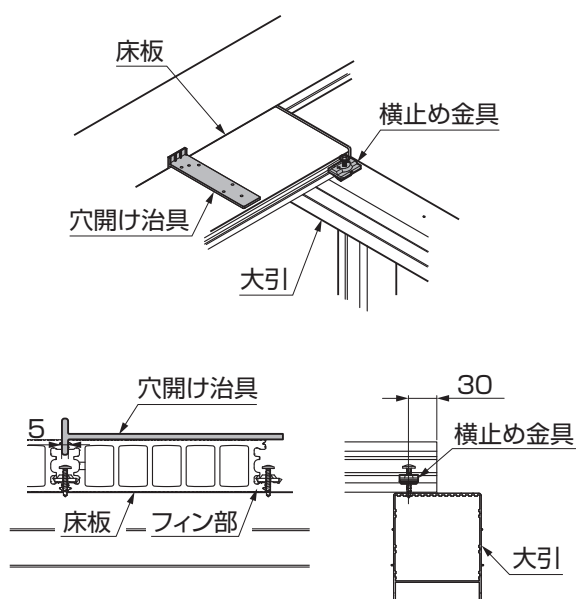


図3-6 柎目・プレーンタイプ・DSの場合

【木彫・DCの場合の場合】

- ①横止め部品を床板のフィン部に乗せて、床板の隙間5mmを穴開け治具で確認し、組込済ドリルネジで大引に固定してください。



ポイント

- 横止め部品の突起部(矢印方向)を、床板のフィン部にのせて取付けてください。

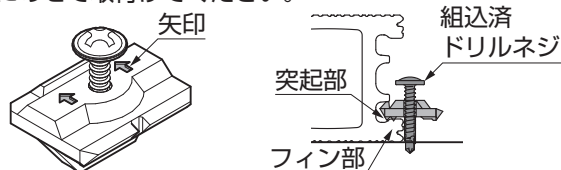


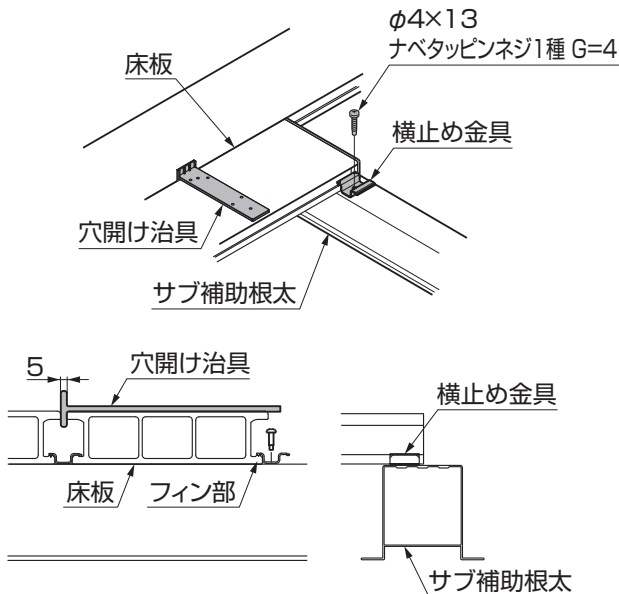
図3-7 木彫・DCの場合

3. 本体床板の加工(つづき)

(2) サブ補助根太の場合

【柎目・プレーンタイプ・DSの場合】

- ①横止め金具を床板のフィン部に乗せて、床板の隙間5mmを穴開け治具で確認し、 $\phi 4 \times 13$ ナベタッピンネジ1種 G=4でサブ補助根太に固定してください。($\phi 3.5$ 下穴加工)



ポイント

- 突起形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。

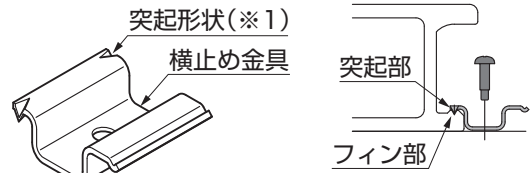
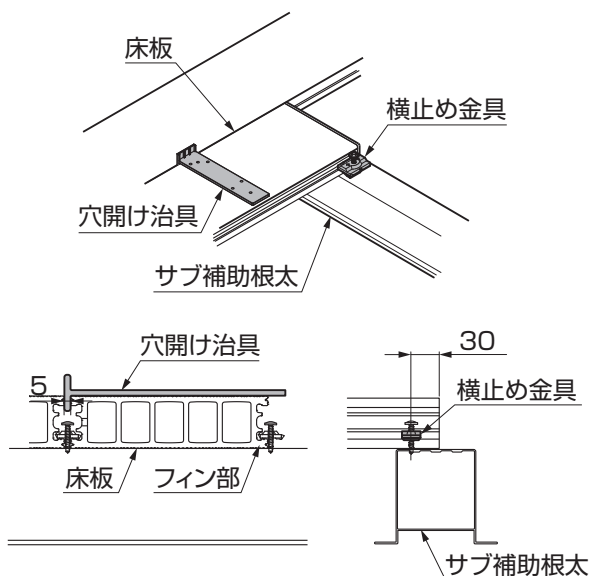


図3-6 柎目・プレーンタイプ・DSの場合

【木彫・DCの場合の場合】

- ①横止め部品を床板のフィン部に乗せて、床板の隙間5mmを穴開け治具で確認し、組込済ドリルネジでサブ補助根太に固定してください。



ポイント

- 横止め部品の突起部(矢印方向)を、床板のフィン部にのせて取付けてください。

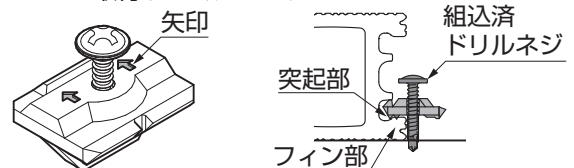
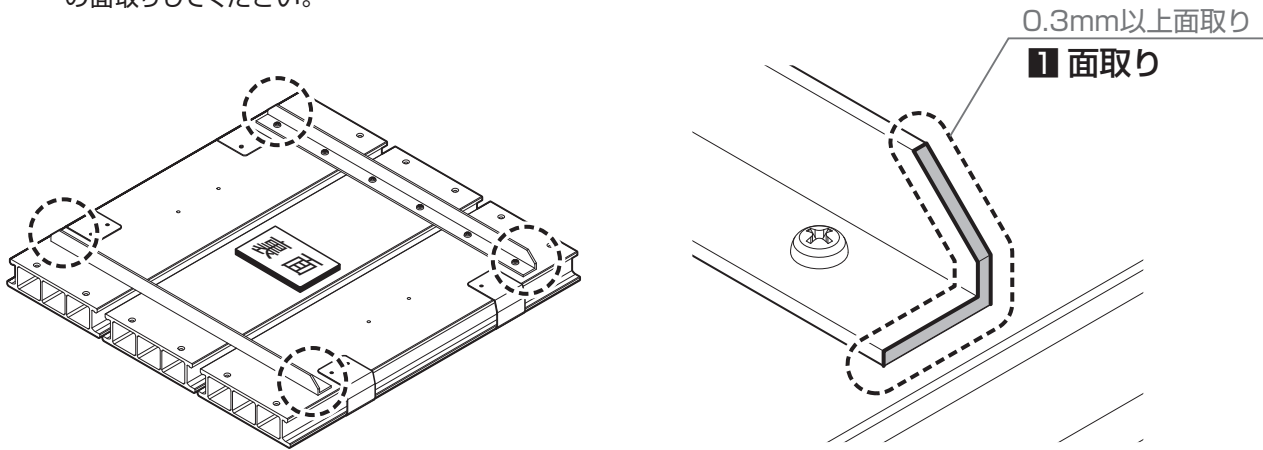


図3-7 木彫・DCの場合

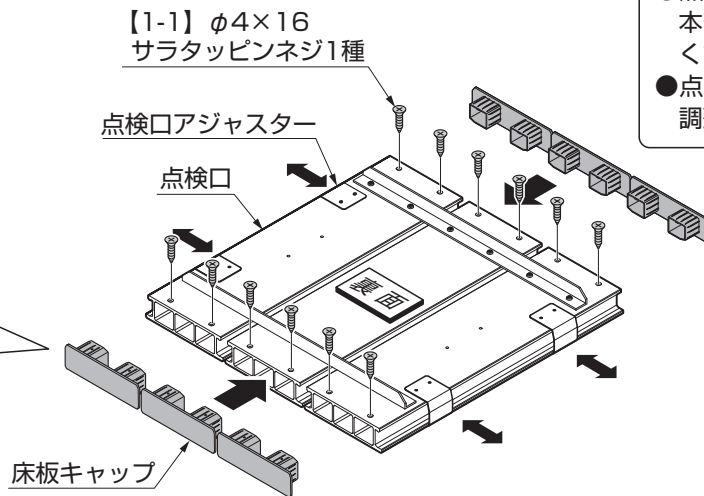
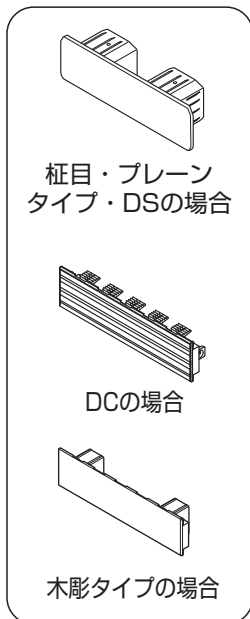
4. 点検口の組立て ※図は柱目・プレーンタイプ、デッキDSを示します。

4-1 点検口取付けアングルの面取り

①点検口取付アングルの切断面の周囲を0.3mm以上の面取りしてください。



4-2 床板キャップの取付け



補足

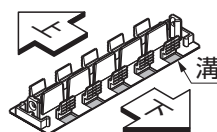
- 点検口アジャスターは、点検口本体と床板の間のガタつきをなくす部品です。
- 点検口アジャスターには、長穴調整機能がついています。

補足

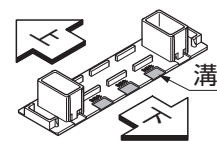


柱目・プレーンタイプ・DSの場合

- 床板キャップには上下があります。



DCの場合

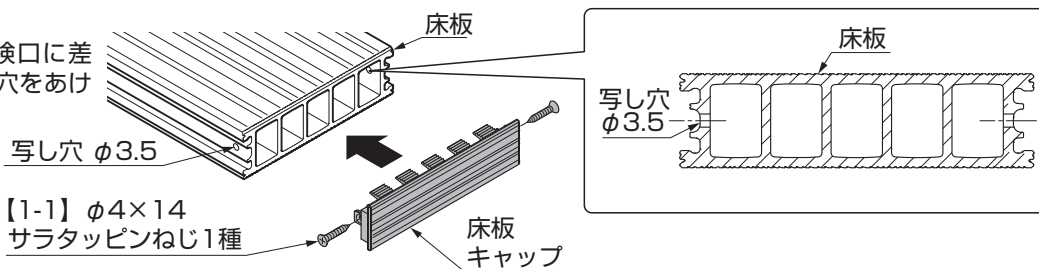


木彫タイプの場合

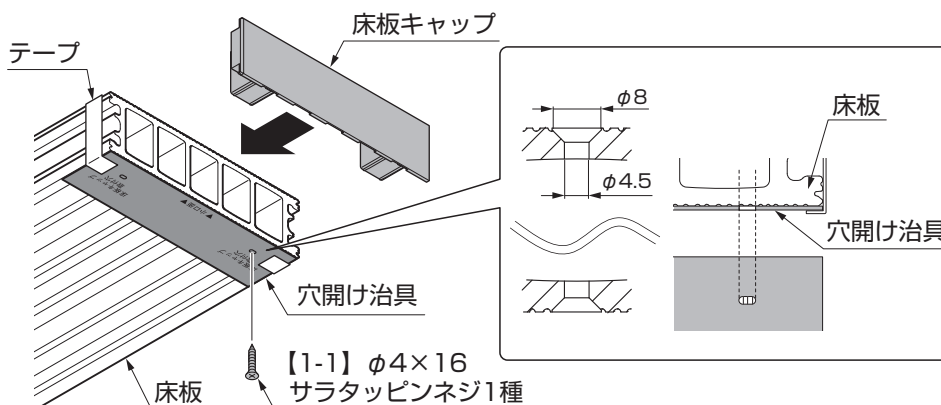
4. 点検口の組立て(つづき)

ポイント

- デッキDCの場合、床板キャップを点検口に差込み、 $\phi 3.5$ の写し穴をあけてください。

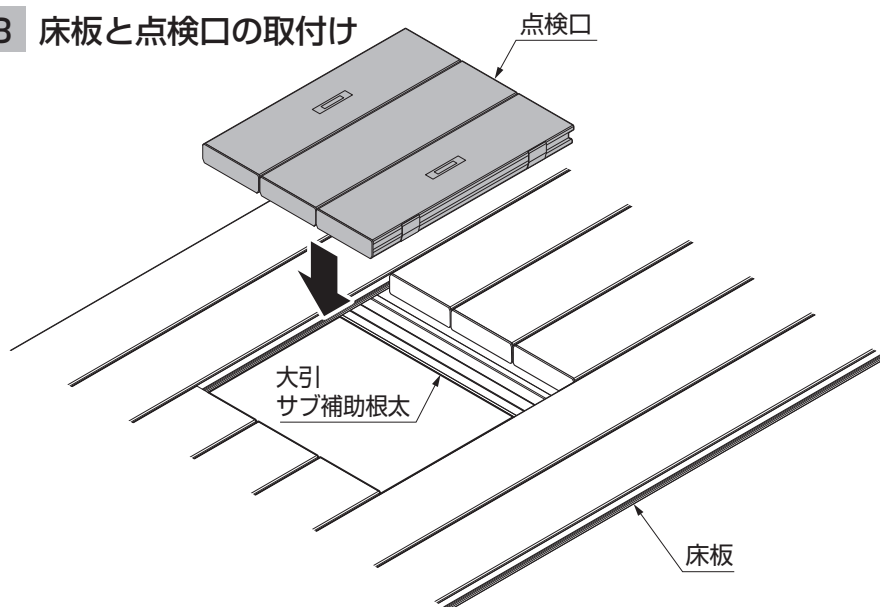


- 木彫タイプの場合、穴開け治具を使い、床板の木彫溝部に $\phi 3$ の下穴をあけてください。下穴は床板と床板キャップまで貫通させます。下穴をあけた後、床板には $\phi 4.5$ 、 $\phi 8$ のサラ取り加工を行ってください。



①点検口両端に床板キャップを、【1-1】で取付けてください。

4-3 床板と点検口の取付け



①点検口を、床板切断面に取付けてください。



取説コード
EXM252
JZZ642209
202603_1049